

# 授業科目 助産診断・技術学 IV

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
中山 和美 他		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【概要・一般目標：G10】 産褥期ならびに新生児期の助産診断と助産技術について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1 助産診断を用いて褥婦ならびに新生児のアセスメントができる 2 アセスメントを踏まえて必要な保健指導を計画立案できる。 3 異常な状態にある産褥期ならびに新生児期の対象者の看護について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	褥婦のアセスメント			1	講義 個人ワーク
2	"			1	個人ワーク
3	"			1	発表
4	新生児のアセスメント			1	個人ワーク
5	"			1	個人ワーク
6	"			1	発表
7	産褥期の保健指導を計画立案			2	グループワーク
8	"			2	グループワーク
9	"			2	グループワーク
10	"			2	発表
11	異常な状態にある褥婦の看護（1）			3	講義
12	異常な状態にある褥婦の看護（2）			3	講義
13	NICUにおける新生児の病態生理と治療			3	講義
14	NICUにおける新生児の病態生理と治療			3	講義
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		実践マタニティ診断第3版 マタニティ診断ガイドブック第4版	青木康子 日本助産診断・実践研究会	医学書院 医学書院	2014・3,800円＋税 2013
その他の資料		適宜紹介します			
【評価方法】 基礎的知識は筆記試験にて評価します。なお出席状況ならびにグループワークへの参加態度により減点することがあります。		【履修上の留意点】 「NICUにおける新生児の病態生理と治療」は新生児科医師の講義のため日程が変わります。講義日に注意してください。  演習では母性看護学で受け持った褥婦と新生児の事例を用います。助産学実習につながる内容です、課題意識をもって主体的に学習してください。			